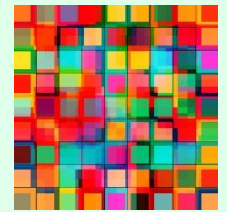


～単科精神科病院をなくしたイタリア トリエステ発～

# 「アッセンブレアだよ！全員集合！！」

日本の精神病院について語り合おう！！



「笑っても泣いても過去は戻らない！」そう話す時男さんの様々な想いと共に。

2011年の東日本大震災の原発事故をきっかけに、精神科病院に入院していた人々の地域移行が福島県で進んだ。一方で2016年の津久井やまゆり園事件以降、「施設」か「脱施設」かの議論がされる。

何が正しい、何が正しくない、の前に、「30年、40年という長い期間、精神病院での生活を強いられてきた人たちが、今、地域で暮らしている。」「今もなお30万人が見えない扉の向こう、精神病院で生活している（厚労省HPより）。」その事実を話し、聴き、共有する。それが、今 私たちにできること。

開催します、「アッセンブレアだよ！全員集合！！」

アッセンブレア=1990年代後半にすべての単科精神科病院を失くしたイタリア北部で始まった患者集会。

日時 : 2017年8月27日(日) 10時開始(9時半開場)

場所 : シリウス6F 講習室(小田急線大和駅徒歩5分)

神奈川県大和市大和南一丁目8番1号 電話: 046-261-0491

人数 : 100名(予約優先)

参加費: 100円(資料代として) \*昼食は各自ご用意ください。

申込先: 県央福祉会 担当 林 電話: 046-259-6361 FAX: 046-260-6660

メールアドレス: [fumiko.hayashi@tomoni.or.jp](mailto:fumiko.hayashi@tomoni.or.jp)

プログラム: 10:00~12:00 アッセンブレア前半 12:00~13:00 休憩

13:00~15:00 アッセンブレア後半

ゲスト・スピーカー

時男さん

大熊一夫さん

時男さん

ピアサポーター、著書「精神病棟40年」、他。出演TV番組「60歳からの青春-精神科病院40年を経て」、「見え始めた精神医療の実態」(共にNHK)

大熊一夫さん

ジャーナリスト、元朝日新聞記者、180人のMattoの会代表、著書「ルポ・精神病棟」、「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」、多数

アッセンブレアとは:

「…長い幽閉で社会性を喪失した人々ばかりです。人間が社会人として生きるうえで必要な『コミュニケーション能力』が減退してしまった人たちばかりです。社会に戻る意欲も失せています。そこで奨励されたのが患者集会でした。不満だろうが要求だろうが、とにかく思いのたけを吐き出す場。イタリア語で「アッセンブレア」と言います。(省略)初めはとりとめのない話ばかりが噴出しましたが、1年もすると格好がついてきました。集会を仕切る指導的人物が現れました。入院者たちの表現力がめきめき回復していきました。」 大熊一夫氏  
ミニコミ誌「クレリエール」521号より

共催: 遊行福祉まつり実行委員会 社会福祉法人 県央福祉会

協賛: 神奈川新聞厚生文化事業団 協力: 遊行フォーラム